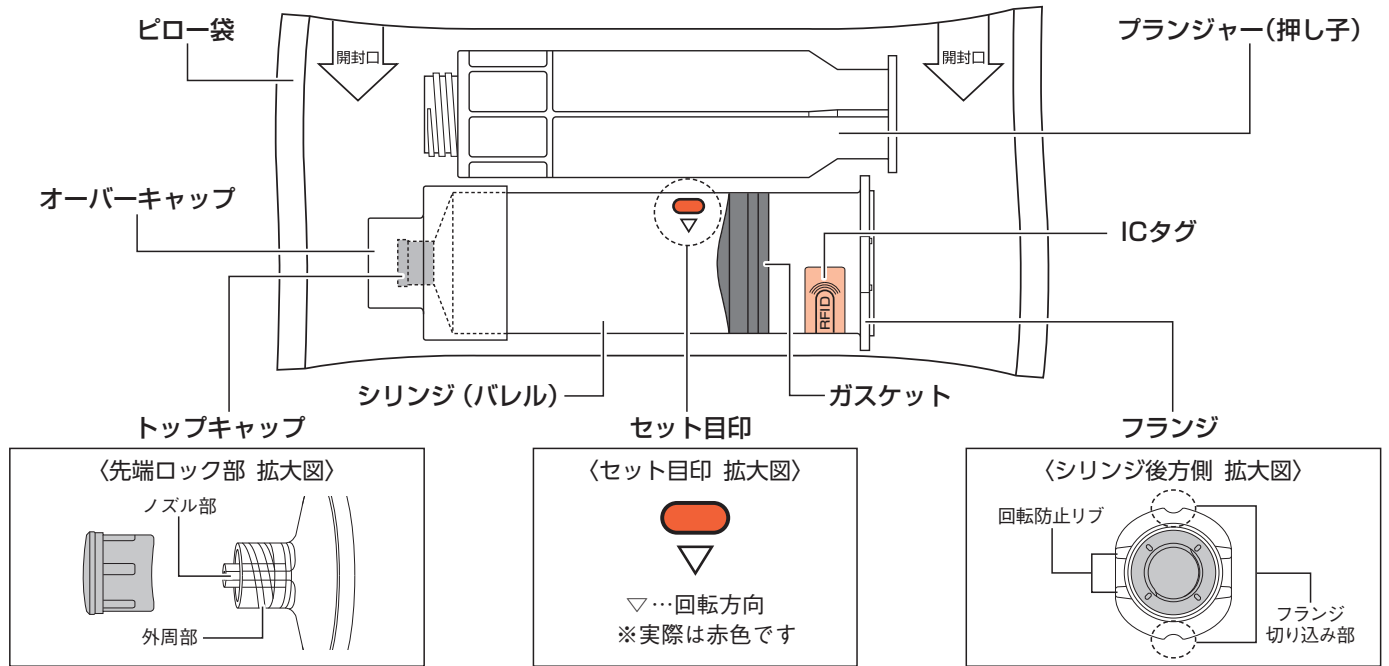


イオメロン350注シリンジ135mL ご使用にあたってのお願い

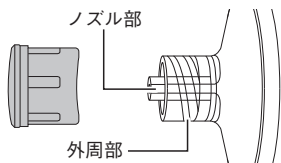
ご使用前のお願い

- ※ピロー包装から取り出したとき、ガスケットやトップキャップから薬液の漏れやその他の異常がないか確認してください。異常が認められた場合には本剤を使用しないでください。
- ※加温することで注入圧が下がります。加温は温風ドライ式または恒温器をご使用ください。ピロー包装のままでも、シリンジの状態でも加温は可能です。電子レンジならびに水槽中での加温は避けてください。
- ※シリンジ内壁に付着している気泡除去の為、硬いもの(プランジャー等)でシリンジを叩かないでください。シリンジ破損や液漏れの原因となります。

◆各部名称◆



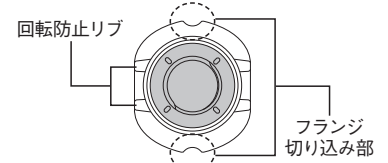
〈先端ロック部 拡大図〉



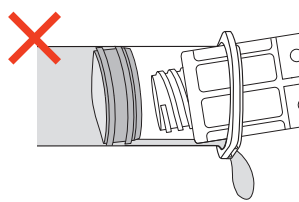
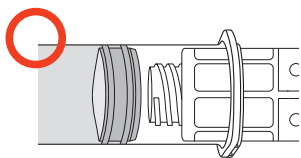
〈セット目印 拡大図〉



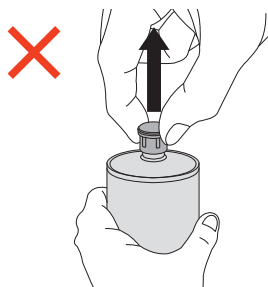
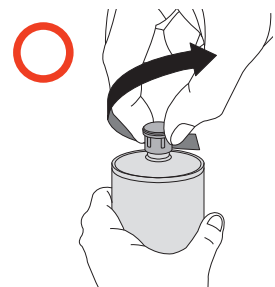
〈シリンジ後方側 拡大図〉



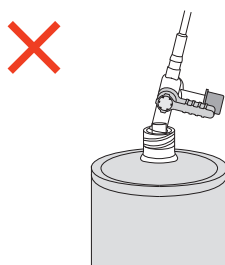
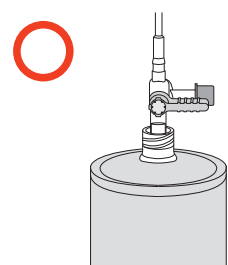
◆シリンジの組立方法◆



- 1** プランジャーはシリンジに対してまっすぐにセットしてください。
※製剤に添付されているプランジャーをご使用ください。
※斜めにセットするとガスケットからの液漏れの原因となります。



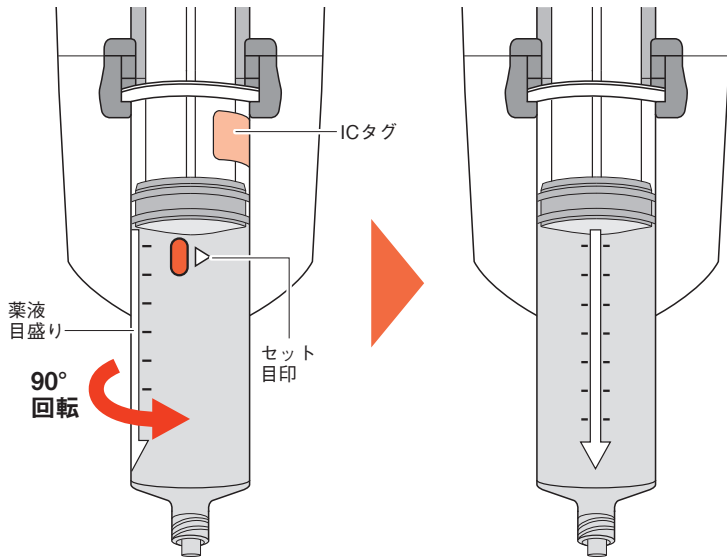
- 2** シリンジを縦にしてトップキャップを斜め方向に回しながら開けてください。
※シリンジが横向きの状態でトップキャップを外すと、先端ロック部からの液漏れの原因となります。
※トップキャップをまっすぐ引いて開けると薬液が飛び出す可能性があります。



- 3** 連結チューブはシリンジに対してまっすぐにセットしてください。投与前にはエア抜きを実施してください。
※連結チューブおよび翼状針は、耐圧ロック式をご使用ください。
※連結チューブが傾いた状態でセットしたり、強く締めすぎると先端ロック部破損の原因となります。

◆ 根本杏林堂製 自動注入器へのセット方法 ◆

(DUAL SHOT GX7、DUAL SHOT GXV、A-800)



1 200mL用のアダプターを自動注入器本体に取り付けてください。

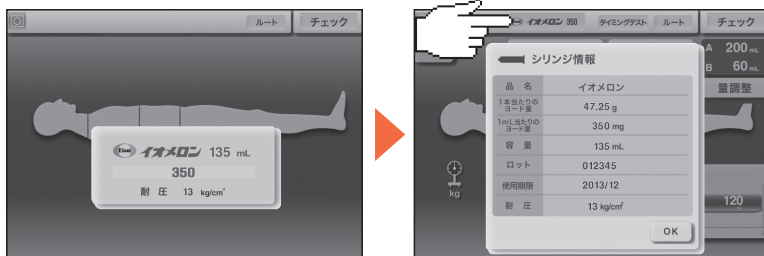
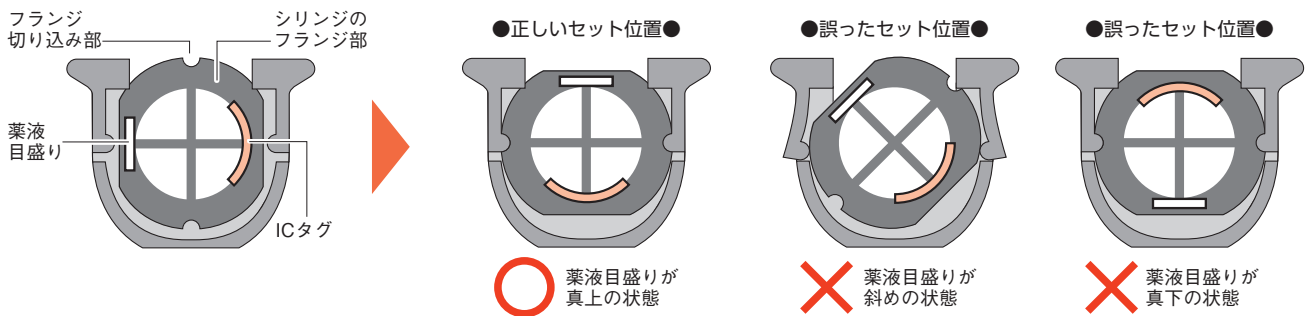
2 自動注入器にセットするときはシリンジのセット目印(●▷)を上
にセットしてください。

セット目印を矢印方向に90°回転
させてください。

「カチッ」と音が鳴りセットされます。

薬液目盛りが真上の位置にあること
を確認してください。

《シリンジ後方からのイメージ図》



※画面上部に表示される「イオメロン」に触れると詳細な情報が表示
されます。

3 ICタグ対応機種では、薬剤情報が
モニターに表示されます。

※ ICタグ (RFID) が
真下の位置にないと、
薬剤情報がモニターに
表示されない場合に
あります。



《取り外し方》

自動注入器から取り外す場合は、セット目印が真上になるまで回してシリンジを取り外してください。

◆ 自動注入器との適合一覧 ◆

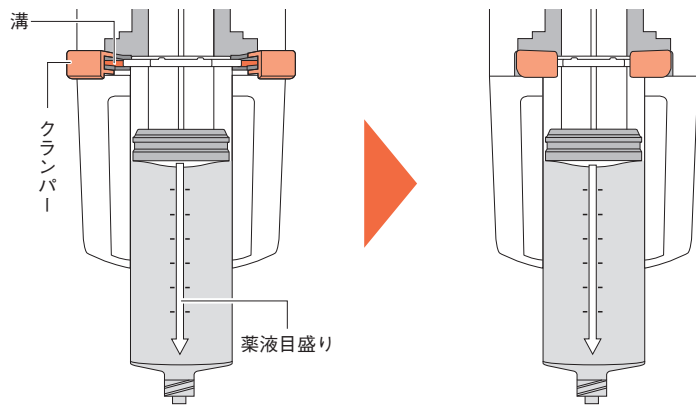
機種名	DUAL SHOT GXV [※] DUAL SHOT GX7 [※]	DUAL SHOT GX [※]	DUAL SHOT	A-800 [※]	A-300 [※]	A-50 A-60 A-250	A-25
適合	○	○	○	○	○	○	×

※ ICタグ対応機種 (DUAL SHOT GX、A-300については2009年9月以降販売機種に限る)

DUAL SHOT GX7、DUAL SHOT GXV、A-800とDUAL SHOT GX、DUAL SHOT、A-300、A-250、A-60、A-50
ではセット方法が異なります。

◆根本杏林堂製 自動注入器へのセット方法◆

〈DUAL SHOT GX、DUAL SHOT、A-300、A-250、A-60、A-50〉



1 100mL用アダプターを自動注入器本体から取り外してください。

2 自動注入器のクランパーを開き、薬液目盛りが真上になるように、フランジ部をクランパーの溝に差し込んでください。
※クランパーの溝の外側後方に、フランジ部をセットしないでください。クランパーの溝に正しくセットされていない場合、フランジ部破損の原因となります。

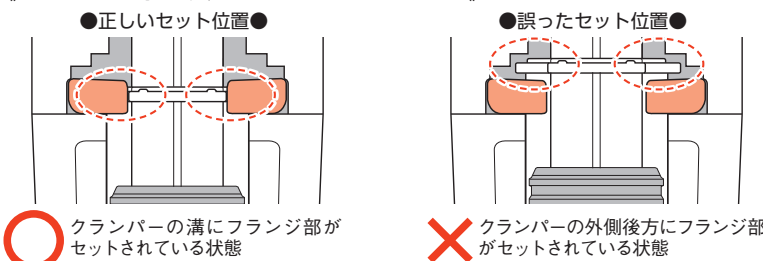
《シリンジ後方からのイメージ図》




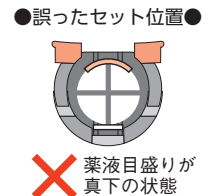
3 クランパーを閉じてください。
※クランパーが閉じていないとフランジ部破損の原因となります。
※自動注入器へ装着後は、回転防止リブにより、シリンジの回転操作はできません。

4 ICタグ対応機種では薬剤情報がモニターに表示されます。

《フランジ部の真上からのイメージ図》



※ICタグ  が真下の位置にないと、薬剤情報がモニターに表示されない場合があります。



○ クランパーの溝にフランジ部がセットされている状態

✗ クランパーの外側後方にフランジ部がセットされている状態

《取り外し方》

自動注入器から取り外す場合は、クランパーを開きシリンジをまっすぐ上に取り外してください。

◆根本杏林堂製 自動注入器の注入速度と注入圧力 [社内資料] ◆

[試験サンプル、使用機器]

135mLのシリンジ製剤を下記条件で造影剤自動注入器にセットし、各注入速度における注入圧力を測定した。

1	造影剤	イオメロン350注シリンジ135mL
2	造影剤自動注入器	DUAL SHOT GX：根本杏林堂製
3	エクステンションチューブ	留置針－三方活栓付エクステンションチューブLX-1.5-FL100CT：トップ製 翼状針－L-30：根本杏林堂製
4	留置針	18G、20G、22G、24G：メディキット製 スーパーキャス
5	翼状針	20G、21G、23G：根本杏林堂製 ディスポーザブル翼状針（耐圧造影用）
6	恒温器	

イオメロン350注シリンジ135mLの注入圧力

(単位：kg/cm²、n=3)

注入速度 (mL/sec)	25℃							37℃						
	留置針				翼状針			留置針				翼状針		
	18G	20G	22G	24G	20G	21G	23G	18G	20G	22G	24G	20G	21G	23G
2.0	—	—	—	—	—	—	14.1	—	—	—	—	—	—	—
3.0	3.9	4.7	6.8	11.7	6.4	8.5	—	2.8	3.4	4.8	9.1	5.1	6.8	14.5
4.0	5.1	6.5	9.4	—	8.7	11.6	—	3.8	4.8	6.8	13.6	6.9	9.1	—
5.0	6.7	8.1	12.1	—	10.9	—	—	4.7	6.1	8.7	—	8.5	11.9	—

〈自動注入器による注入時の留意点〉

本剤を造影剤自動注入器で使用の際は、注入圧力13kg/cm² (185PSI) 以下でご使用ください。
チューブの長さやチューブのねじれにより圧力は変動します。

◆ バイエル社製 自動注入器へのセット方法 ◆ (ステラントシリーズ (スライド付きアダプタ))



●正しいセット位置●

1 150mL用のアダプタを自動注入器本体に取り付けてください。

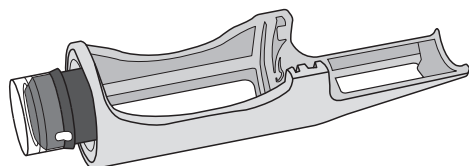
2 アダプタのスライドを上にあげ、薬液目盛りが真上になるようにフランジ部をアダプタの溝にセットしてください。

3 スライドを最後まで下ろし、シリンジのフランジ部が正しく溝に固定されていることを確認してください。

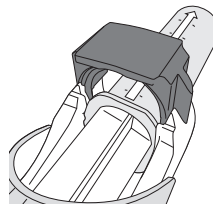
※正しく固定されていないとフランジ部破損の原因になります。

〈注意〉

スライドがないアダプタでは、フランジ部破損の原因になるため、使用しないでください。



●誤ったセット位置●



✕ スライドが下りきっていない状態

※バイエル社製アダプタに関するお問い合わせは、バイエル薬品株式会社 お問い合わせサービスコール(0120-609-040)にご連絡ください。

《取り外し方》

自動注入器から取り外す場合は、スライドを上げてシリンジを取り外してください。

◆ バイエル社製 自動注入器の注入速度と注入圧力 [社内資料] ◆

[試験サンプル、使用機器]

135mLのシリンジ製剤を下記条件で造影剤自動注入器にセットし、各注入速度における注入圧力を測定した。

1	造影剤	イオメロン350注シリンジ135mL
2	造影剤自動注入器	Stellant D Dual Flow : バイエル社製
3	エクステンションチューブ	LPDCT160 : バイエル社製
4	留置針	18G、20G、22G、24G : メディキット製 スーパーキャス
5	翼状針	20G、21G、23G : 根本杏林堂製 ディスポーザブル翼状針 (耐圧造影用)
6	恒温器	

イオメロン350注シリンジ135mLの注入圧力

(単位 : PSI、n=3)

注入速度 (mL/sec)	25°C							37°C						
	留置針				翼状針			留置針				翼状針		
	18G	20G	22G	24G	20G	21G	23G	18G	20G	22G	24G	20G	21G	23G
1.0	—	—	—	—	—	—	134	—	—	—	—	—	—	—
2.0	—	—	—	141	—	—	—	—	—	—	—	—	—	202
3.0	118	126	154	—	164	183	—	90	99	118	184	131	141	—
4.0	152	170	209	—	216	—	—	119	131	162	—	167	189	—
5.0	194	222	—	—	—	—	—	146	165	207	—	211	—	—

いずれの注入圧力値においても破損は認められなかった。

〈自動注入器による注入時の留意点〉

本剤を造影剤自動注入器で使用する際は、注入圧力185PSI (13kg/cm²) 以下でご使用ください。

チューブの長さやチューブのねじれにより圧力は変動します。

◆ 自動注入器との適合一覧 ◆

機種名	SALIENT	Stellant D Dual Flow	Stellant D Cardiac	Stellant D	Stellant SX	Vistron CT
適合	○	○	○	○	○	×

サリエント、ステラントシリーズのセット方法は同じです。